



★輝く栗東人

開墾から 75 周年 浅柄野の地で生きる



佐々木 昭人さん (荒張・95歳)

国策により組織された滋賀県開拓増産隊の一人として、20歳の時に長野から滋賀へ入植。昭和22年の浅柄野開拓農業協同組合設立に貢献。開拓当初から集落の成り立ちを知る貴重な人物。長老として、この地をあたたく見守っている。

開墾75周年を記念し、昭人さん直筆の「感謝」の文字がプレートとなり、浅柄野公民館横の「みんなの森」に飾られる予定です。

昭和22年、浅柄野に開拓の鉞が下ろされてから75年。浅柄野は栗東市の南部、鶏冠山の山麓にあり、現在は立派な農村地帯が広がっています。そこに至るまでには、戦後開拓に携わってきた先人たちのたゆまぬ努力がありました。

■開拓の様子を振り返って

戦後の荒廃と混乱の中で、食糧増産と日本復興のための事業として開拓計画が持ち上がりました。昭和21年、大野神社の寮に、私を含めた八ヶ岳中央終練農場卒業生が集結し、開墾に着手しました。当時は機械もなく、木々の伐採や根掘りなど、毎日一振り一振り、朝から晩まで作業をしました。途中で諦めて辞めていった人もいま

した。逃げ出さずに開拓を続けてこられたのは、残った仲間と不屈の精神で、団結して取り組んできたから。開拓の合間に、指導者や先輩たちに滋賀県内を遊びに連れて行ってもらったことが思い出です。

■浅柄野の礎を築いた先人たち

現在の浅柄野は、ビニールハウスが立ち並び野菜産地となり、栗東市で栽培される野菜の大部分を占めるまでに発展しました。これも荒野を拓き、種をまいてきた努力の積み重ねであり、人も作物ともに育ってきたことで、二世、三世へと農業が受け継がれ、今の浅柄野があるのだと感じています。

■これからの浅柄野への思い

開拓の成功は名誉なことですが、浅柄野が一つの地域として存続していることが一番の喜びです。これまで地域の基盤を作ってきた自治会の人たちへは感謝の気持ちしかありません。「祖述」という言葉のとおり、先人の考えを受け継ぎ、話し合いながら活動している若い人たちの精神は、個々の経営や里づくりに生かされています。これからも団結して浅柄野という地域を築いていってほしいです。



開墾45周年記念碑。「開墾は開魂に通ず」の信念を貫き、里づくりを完成させた先人たちの努力が伝わってくる



西瓜畑で収穫している当時の様子

ただいま **土地買取強化中**

スピード査定 **即金買取** **秘密厳守**

ご相談 / お見積りだけでもお気軽に (査定無料)

新築 / リフォーム / 仲介 / 賃貸 / 土地買取

SEIWA 西和不動産

栗東市上鈎 459-7 TEL. 0120-477-210

参加無料 大津地方方法務局・滋賀県司法書士会 事前予約制

相続・遺言講演会 & 相談会

相続・遺言に関する疑問や相談に応じます!

日時: 11月12日(土) 13:00~16:30

会場: ウイングプラザ(JR栗東駅前)

※本イベントは、新型コロナウイルス感染症対策を十分に行います。ただし、感染状況の悪化により、中止となる場合がございます。

予約受付 滋賀県司法書士会事務局 ☎077-525-1093 (平日 9時~12時, 13時~16時)

広告欄



栗東市公式 SNS から最新情報を発信しています!



人口データ

- ・人口 70,465人(+38)
- ・男 35,084人
- ・女 35,381人
- ・世帯29,396世帯(+30)

※() 前月比